

2001年(第12回)福岡アジア文化賞

芸術・文化賞

マリルー・ディアス＝アバヤ
(Marilou DIAZ-ABAYA)

映画監督
1955年3月30日生(46歳)
フィリピン

略歴

- 1955 ケソン市に生まれる
- 1976 アサンプション・カレッジ教養学部卒業(コミュニケーション・アート専攻)
- 1977 ロサンゼルス、ロヨラ・メリーマウント大学映画・テレビ学科修士号取得
- 1978 ロンドン・インターナショナル・フィルム・スクールに学ぶ
- 1980 長編第一作『鎖』を発表
長編第二作『ブルータル／暴行』メトロ・マニラ映画祭最優秀監督賞
- 1981 リノ・ブロッカ監督、イシュマエル・ベルナル監督とフィリピン・フィルムディレクターズ・ギルド(KDPP)結成
- 1982- アテネオ・デ・マニラ大学コミュニケーション・アート学部映画講師
- 1983 『モラル』ロンドン国際映画祭出品
- 1984 『カルナル／愛の不条理』フィリピン・フィルム・アカデミー賞最優秀監督賞、ファマス(フィリピン映画芸術科学アカデミー)賞最優秀監督賞
- 1986-97 テレビ政治討論番組「パブリック・フォーラム」監督
- 1987-90 テレビニュース番組「シック・オクロック・ニュース」をはじめ文化・政治問題を取り上げた数々のドキュメンタリー番組を監督
- 1995 フィリピン・ディレクターズ・ギルド共同結成
『貴女のためにたたかう』福岡、東京、ニューデリー、上海、ダマスカス、カイロの映画祭に出品
- 1996 『マドンナ・アンド・チャイルド』香港、福岡、東京、カイロ、ダマスカスの映画祭に出品
- 1997 『ミラグロス』マヌヌリ映画批評家賞最優秀監督賞。福岡、東京、ハワイ、シンガポール、釜山の映画祭に出品
- 1998 『海に抱かれて』シンガポール国際映画祭で国際映画批評家連盟賞およびネットパック賞。ベルリン、モントリオール、福岡、東京、トロント、釜山、シカゴ、ロサンゼルス、ハワイ、テッサロニキ、カイロ、ブエノスアイレスの映画祭に出品
- 1999 『ホセ・リサール』メトロ・マニラ映画祭最優秀監督賞、マヌヌリ映画批評家賞最優秀監督賞、ファマス賞最優秀監督賞。ベルリン、ハワイ、シンガポール、福岡、東京、シカゴ、台北、ボンベイ、マドリードの映画祭に出品
ミュンヘン国際映画祭で回顧上映
- 2000 『ムロアミ』メトロ・マニラ映画祭最優秀監督賞、マヌヌリ映画批評家賞最優秀監督賞、ファマス賞最優秀監督賞。福岡、東京、ベルリン、シンガポール、釜山の映画祭に出品

主な監督作品

- | | | |
|------------------------------|------------------|------------------------|
| 『鎖』(1980) | 『ブルータル／暴行』(1980) | 『モラル』(1983) |
| 『ベビー・チナ』(1984) | | 『カルナル／愛の不条理』(1984) |
| 『貴女のためにたたかう』(1995) | | 『マドンナ・アンド・チャイルド』(1996) |
| 『ミラグロス』(1997) | | 『海に抱かれて』(1997) |
| 『ホセ・リサール』(1998) | | 『ムロアミ』(1999) |
| 『Bagong Buwan(New Moon)』※製作中 | | |